

2008年  
11月15日  
No.56

# さざなみ

〒520-0043  
大津市中央1丁目5-25  
小堀マンション2030号室  
**さざなみネット**  
(金融労連・全国金融一般労働組合滋賀支部)  
TEL・FAX 077-522-7868

## 全国金融一般労働組合定期全国大会を開催 「金融機関・金融制度の民主化」重要な課題に 地域金融機関の労働組合の責任・役割を果たそう

全国金融一般労働組合は、11月1日(土)、大津市において第3回定期全国大会を開催しました。

山崎執行委員長は、金融危機と景気悪化による労働者や中小企業への厳しい影響を指摘、その原因であるカジノ資本主義を退場させ、内需中心の経済成長への転換を訴えました。

厳しい金融情勢のもと、金融機関と金融制度の民主化が重要な課題になってきており、地域金融機関の労働組合の責任・役割が大きくなってきていることを強調し、「組織強化や合同問題など大志をもってがんばろう」と挨拶を締めくくりました。



挨拶をする山崎執行委員長

右記日程のとおり来賓挨拶の後、議案が提案され、活発に討議し、全議案を全員賛成で採択・確認しました。2008年度の役員を次のとおり選出しました。  
(執行委員長) 山崎幸雄 (書記長) 浦谷貞子  
(執行委員・会計監査) 省略



### 個人加盟労組の合同問題についての意見

- 規約や財政など多くの課題があるが、十分な議論で、全国一本化を。
- 金融労連の戦略のもと、加盟単組と協力し組織強化の受け皿の機能強化を。
- 金融労連の地協に対応する個人加盟組織という位置づけを明確にすべきだが、現実の問題としては、当面全国的な組織を合同して立ち上げる。



岩波美智子さん画

### 第3回定期全国大会日程

開会・挨拶・大会役員選出

執行委員長挨拶

来賓挨拶

金融労連書記次長 中島康隆

地銀連中央執行委員長 谷 一明

資格審査委員長・議事運営委員長

・選挙管理委員長発言

第1号議案 2007年度活動報告

第2号議案 2008年度運動方針

第3号議案 2007年度決算報告

会計監査報告

2008年度予算

第4号議案 2008年度役員選出

第5号議案 2008年度上部団体

への大会代議員・中央委員について

第6号議案 金融労連個人加盟労組の

合同に向けたスケジュールについて

第7号議案 その他

当面の取り組みについて

討議

第1・2・3・5号議案 採決

第6・7号議案 確認

大会決議・新任役員挨拶・閉会

### 発言の概要(一部)

首切りの「賃下げ  
リストラ」合理化」必至

- ・ 投信や生損保の販売を大々的に行うため、女性を中心に子どもの有無に関係なく、本部に集め研修を始めた。
- ・ 中高年者の首切り・追い出しのため、希望退職者を募集した。予定より多くの希望があったという。もっと多く募集したかったが、払う退職金がないとか。
- ・ 賃金に切り下げ・非正規労働者への切り替えなど、劇的なリストラ「合理化」が予想される。

ただかう組合・機関紙「生損保の綱」に

- ・ たたかう組合・機関紙の果たしている役割は、「生きる綱」となっている。
- ・ 金融危機にあたって、金融機関の労働組合としての役割が、より重要になってきている。
- ・ 将来大損するかもしれないと分かっているながら、ノルマがあるので、悩みながらリスク商品を販売している仲間などを、元気付けていくことが重要だ。
- ・ この閉塞した状況の中では、闘う組合に入ることこそ、人生の見通しを持つことができる。

## 来賓挨拶 谷地銀連中央執行委員長 企業単位の労働組合との合意連携 いろんな形態が必要

地銀連が組織強化を目ざしつくろうとした個人加盟労働組合は、労働相談と連動したものです。単産として全国単一組織の個人加盟を立ち上げ、役員配置も行いそこに組織をする方向を確認していました。

既存の組合員を全員個人加盟に重複加入させ、地域単位の組織をという意見も出され、ずいぶん論議を行い、現在の「全国金融一般労働組合」にたどり着いたのです。

金融労連の個人加盟労働組合同準備会でまた同様の議論が繰り返されたようですが、現在、日本の労働

組合の多くが企業単位の組織されています。理想は、個人加盟の地域・産業別組織だと言うことは周知のとおりです。しかし、「分裂少数組合を個人加盟に組織する」ということが一概に良



いとは言えません。労働協約、労使慣行、労使関係などが精算・破棄される可能性を持っています。

現存する企業単位の組織を消す必要はないと思います。当該単組との合意連携の元に個人加盟組合を作ることがよいと思っています。それをさざなみネットが立証したのではないかと思います。

形態も、労働者の状態からもさまざまであり、「駆け込み寺」も必要ですが、いざという時のために「水面下の緩やかな繋がり」も必要だと考えています。

金融労連の個人加盟労働組が全国一本化し、発展されることを、期待してあいさつとします。



挨拶をする谷地銀連委員長

## 第54回滋賀県母親大会 冷たい雨の中、1200人の熱気で埋まる

第54回滋賀県母親大会が、10月26日(日)米原市で開かれました。あいにくの雨のなかでしたが、



記念講演をする後藤宣代さん

県下各地から1200人が参加しました。さざなみネットからは7人が参加しました。

10時からの全体会では、米原市のお母

さんや子どもたちの「紅天女」による、躍動感あふれる「よさこいソーラン」で始まりました。

平尾米原市長から、感動の歓迎のあいさつを受けた後、福島県立医科大学・後藤宣代さんが「生きる喜び・働く喜び—地球的規模で考える母親運動」と題して記念講演をされました。

後藤さんは、「環境運動・消費者運動・福祉の活動など、新しい価値観が生まれ、生きづらさ・働きづらさから生きる喜び・働く喜びへの大転換が起きています。自分の生き方で社会を変え、社会の富を生み出す人が出てきています」と述べられ、冷たい雨の中でしたが、会場はみんなの熱気で埋まりました。

滋賀県母親大会に  
参加して

分科会  
千年紀  
「源氏物語」  
の女性たち

分科会は、

「千年紀『源氏物語』の女性たち」と、今年なら

ではの分科会に参加しました。

「源氏物語」という長大な物語は、

書かれて千年という長い年月が経つ

ても、いまも読み継がれています。

作者紫式部とはどんな女性であっ

たのでしょうか。石山寺で執筆さ

れ、京から父の任地である越前

(福井)の国府・武生まで琵琶湖

を舟で勝野・塩津と泊し、旅を

されたようで、長い道のりであっ

たようです。

結婚、2年余りで死別  
物語を書くことで自信を

結婚されたが、2年余りで死別

され将来の不安からたいへん落ち

込まれたようですが、文学的素養

があったのでしよう、物語を書く

ということでの自信を取り戻し、こ

のような長編を書かれたようです。

まだ読んでいないのでぜひ挑戦し

ようと思いました。

